

毎日朝のお勤めを終え、縁に座り境内の様子を眺めています。

お盆も終わり、子どもたちの学校がもうすぐ始まる時期が来ても、連日熱中症警戒アラートが発表されており、雨は降らず木々たちに灌水しても灼熱の太陽に容赦なく照りつけられ、ただじっと耐えるしか出来ず徐々に葉の色を変え、やがて葉を落として行く姿を見ているのは辛いものです。

また、他の地方では線状降水帯が発生し豪雨被害で苦しんでいます。

私たちは今まで一生懸命に豊かで便利な生活を追い続けてきました。確かに電気製品や車の普及等で生活が楽で便利になったようにみえますが、結果は二酸化炭素を大量排出し続け地球温暖化がどんどん進み、異常な気候になっていると言われています。因果の道理ですね。なるべき結果と受け止めなければいけません。

現在の生活を温暖化以前に戻すことも、気候を元に戻すこともできないが、今まで求めて来た豊かさとは何かを省み、これからの生活を深く考える機会ではないでしょうか。子どもや孫たちに安全な生活ができる地球を残して行くために。

